

今期業況天気図

今期業況天気図

期間：令和4年1月～3月（売上・採算・仕入単価・販売単価・資金繰り・従業員・今期業況のDI値は前年同期との比較）

全業種総合の天気図は「小雨」。令和4年1月～3月期の総合業況DIは▲33と、前期▲28から5ポイントの低下。

業種別では、飲食業・サービス業は▲30（前期差7ポイント減）、建設業は▲38（前期差6ポイント減）と悪化し、製造業は▲28（前期差4ポイント減）、小売業・卸売業が▲43（前期差3ポイント減）と若干の悪化が見られた。感染力の強い新型コロナウイルス感染症（オミクロン株）の影響で、回復基調にあった小売業・卸売業と飲食業・サービス業の業況が再度悪化に転じ、製造業と建設業では、ウクライナ危機により資材・燃料費の高騰や部品・部材不足が一層深刻になり、厳しい状況が続く。

	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	▲ 25	▲ 14	▲ 28	▲ 36	▲ 27
採算	▲ 35	▲ 33	▲ 40	▲ 46	▲ 31
仕入単価	▲ 58	▲ 80	▲ 71	▲ 59	▲ 40
販売単価	1	9	▲ 9	7	▲ 1
従業員	19	17	28	12	20
資金繰り	▲ 22	▲ 20	▲ 17	▲ 30	▲ 21
今期業況 (総合判断)	▲ 33	▲ 28	▲ 38	▲ 43	▲ 30
今期業況 天気図					

業況天気図凡例					景気観測調査
 DI値 31以上	 DI値 30～11	 DI値 10～▲10	 DI値 ▲11～▲30	 DI値 ▲31以下	前年度同時期との景況を比較し、「良い／悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。 「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる。

参考)今期業況天気図の推移

	全産業	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
3四半期前 令和3年4月～ 6月期					
2四半期前 令和3年7月～ 9月期					
1四半期前 令和3年10月～ 12月期					
今期 令和4年1月～ 3月期					

今期業況天気図

今期業況天気図(小規模事業者)

(商業・サービス業従業員5名以下、その他の業種20名以下)

期間: 令和4年1月～3月(売上・採算・仕入単価・販売単価・資金繰り・従業員・今期業況のDI値は前年同期との比較)

小規模事業者のみの全業種総合のDIは▲40で天気図は「雨」。建設業は▲40(前期差9ポイント減)と厳しい状況から再度悪化した。飲食業・サービス業は、▲35(前期差7ポイント減少)と回復傾向にあった前期から再び悪化した。一方、製造業は▲40(前期差2ポイント減)、小売業・卸売業が▲49ポイント(前期差2ポイント増)は、前期並みで厳しい状況が続いている。

	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	▲34	▲23	▲34	▲49	▲34
採算	▲39	▲39	▲39	▲49	▲34
仕入単価	▲58	▲81	▲69	▲56	▲37
販売単価	▲0	7	▲9	3	▲1
従業員	14	15	29	▲1	9
資金繰り	▲27	▲29	▲20	▲39	▲24
今期業況(総合判断)	▲40	▲40	▲40	▲49	▲35
今期業況 天気図					

今期業況天気図(小規模事業者以外の中小企業)

期間: 令和4年1月～3月(売上・採算・仕入単価・販売単価・資金繰り・従業員・今期業況のDI値は前年同期との比較)

全業種総合のDI値は▲22と前期の▲15から7ポイント悪化し、天気図は「小雨」に転じた。建設業は▲21(前期差26ポイント増)と大幅に改善し、製造業は▲10(前期差8ポイント減)と前期の好況感が薄れ、「曇り」となった。飲食業・サービス業が▲24(前期差7ポイント減)、小売業・卸売業が▲33(前期差11ポイント減)で、再度悪化している。

	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	▲12	▲1	5	▲15	▲18
採算	▲30	▲24	▲47	▲40	▲28
仕入単価	▲58	▲80	▲84	▲63	▲43
販売単価	4	11	▲11	13	▲1
従業員	28	19	26	31	32
資金繰り	▲14	▲7	0	▲17	▲18
今期業況(総合判断)	▲22	▲10	▲21	▲33	▲24
今期業況 天気図					

業況天気図凡例					景気観測調査
 快晴 DI値 31以上	 晴れ DI値 30～11	 薄曇り DI値 10～▲10	 小雨 DI値 ▲11～▲30	 雨 DI値 ▲31以下	<p>前年度同時期との景況を比較し、「良い／悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。 「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる。</p>

次期見通し業況天気図

次期見通し業況天気図

令和4年4月～6月見込(売上・採算・仕入単価・販売単価・資金繰り・従業員・次期業況DI値は今期との比較)

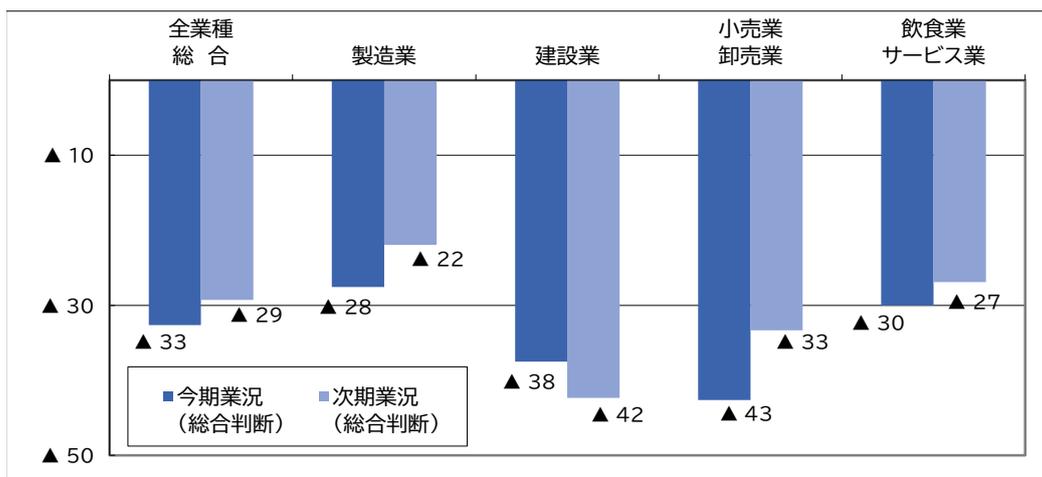
全産業の次期見通しの天気図は、▲29(今期差4ポイント増)で「小雨」と、若干改善の見込み。

産業別にみると、小売業・卸売業は▲33(前期差10ポイント増)と厳しい状況からの改善を見込む。製造業は▲22ポイント(今期差6ポイント増)、飲食業・サービス業は▲27(今期差3ポイント増)も若干の改善の予想である。建設業は▲42(今期差6ポイント減)は、更なる悪化の見込みで厳しい状況が続くと考えられている。

	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	▲16	▲3	▲26	▲27	▲16
採算	▲28	▲22	▲40	▲29	▲25
仕入単価	▲55	▲70	▲72	▲64	▲36
販売単価	5	15	▲11	12	2
従業員	18	14	27	10	19
資金繰り	▲21	▲17	▲22	▲25	▲22
次期業況 (総合判断)	▲29	▲22	▲42	▲33	▲27
次期業況 天気図					

業況天気図凡例					<<景気観測調査>> 前年度同時期との景況を比較し、「良い／悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。 「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる。
快晴 DI値 31以上	晴れ DI値 30～11	薄曇り DI値 10～▲10	小雨 DI値 ▲11～▲30	雨 DI値 ▲31以下	

参考) 今期と次期の業況DI



次期見通し業況天気図

次期見通し業況天気図(小規模事業者)

(商業・サービス業従業員5名以下、その他の業種20名以下)

令和4年4月～6月見込(売上・採算・資金繰り・仕入単価・販売単価・従業員・次期業況DI値は今期との比較)

全産業の次期見通しは▲35(今期差5ポイント増)で、天気図は製造業を除いて「雨」となり若干の改善は期待されるが引き続き厳しい状況の見込み。産業別にみると、製造業は▲28(今期差12ポイント増)、小売業・卸売業は▲42(今期差7ポイント増)と改善に転じる見込み。飲食業・サービス業も▲31(今期差4ポイント増)で若干の改善の予想。建設業は▲44(今期差4ポイント減)で、厳しい状況が続く予想である。

	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	▲22	▲10	▲32	▲32	▲19
採算	▲31	▲28	▲39	▲32	▲26
仕入単価	▲55	▲70	▲70	▲55	▲34
販売単価	1	7	▲10	8	1
従業員	12	11	26	0	8
資金繰り	▲26	▲23	▲26	▲35	▲24
次期業況(総合判断)	▲35	▲28	▲44	▲42	▲31
次期業況 天気図					

次期見通し業況天気図(小規模事業者以外の中小企業)

令和4年4月～6月見込(売上・採算・仕入単価・販売単価・資金繰り・従業員・次期業況DI値は今期との比較)

全産業の次期見通しの天気図は、▲21(今期差1ポイント増)で、「小雨」「雨」と今期並みの予測。産業別にみると、小売業・卸売業は▲23(今期差10ポイント増)が改善し、飲食業・サービス業は▲22(今期差2ポイント増)も今期並みを維持する予想である。製造業が▲14(今期差4ポイント減)と若干の悪化、建設業は▲32(今期差9ポイント減)と悪化が続く見込である。

	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	▲7	8	11	▲19	▲13
採算	▲22	▲14	▲42	▲25	▲24
仕入単価	▲56	▲70	▲84	▲77	▲39
販売単価	11	26	▲16	19	3
従業員	27	18	32	25	32
資金繰り	▲13	▲8	5	▲10	▲19
次期業況(総合判断)	▲21	▲14	▲32	▲23	▲22
次期業況 天気図					

業況天気図凡例				
 DI値 31以上	 DI値 30～11	 DI値 10～▲10	 DI値 ▲11～▲30	 DI値 ▲31以下

<<景気観測調査>>
前年度同時期の景況を比較し、「良い／悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。
「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる。

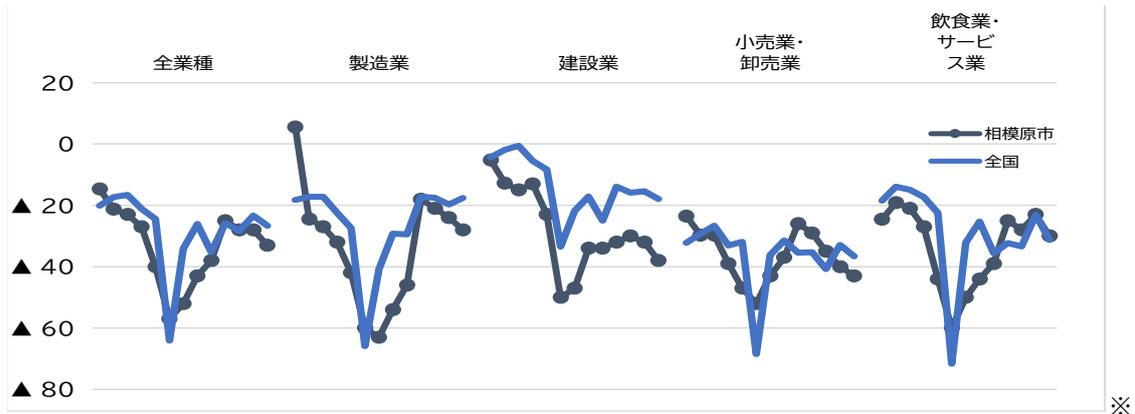
業況DI(前年同期比)の推移

全産業の業況DIは、前期▲28から▲33(前期差5ポイント減)と若干の悪化。

産業別にみると、製造業が▲28(前期差4ポイント減)、飲食業・サービス業が▲30(前期差7ポイント減)と悪化。建設業は▲38(前期差6ポイント減)、小売業・卸売業は▲43(前期差3ポイント減)と、いずれの業種もやや悪化した。

全国と比較すると、製造業、小売業・卸売業の業況が全国よりも悪くなった。建設業は長期に渡って全国よりも悪い業況が続く。

(令和元年1-3月期～令和4年1-3月期、前年同期比)

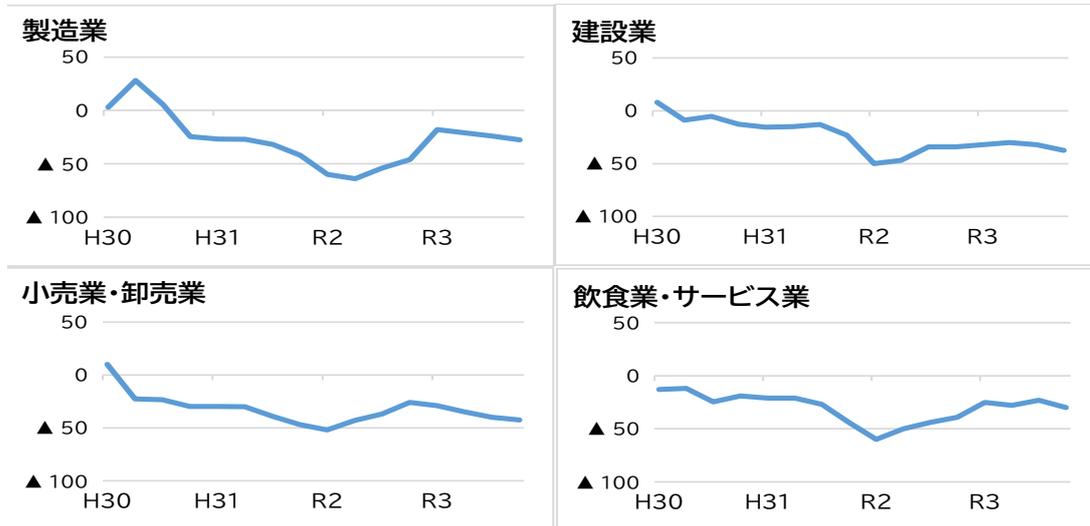


全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「業況判断DI」を使用。

※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

※業況DIについて、当所では「総合判断」、中小企業庁は「業況(自社)」を質問項目としている

参考)業況DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



業況DI（特徴的なトピックス）

産業別に寄せられた特徴的なトピックスは以下のとおりである。

【製造業】

- ・材料費等仕入れ単価の上昇を価格に転嫁できるかどうかが今年度の課題となります。【段ボール箱等紙製品製造加工業】
- ・部品問題が大きく影響し、1年先の部品発注をする異常事態になっている。また、多くのコストで値上げ要求がある。【無線機、AUDIO機器、カラオケ機器の設計、製造、販売】
- ・見積りだけで案件が来ない。ネット販売へ業務転換予定。【プラスチック金型設計・筐体設計（樹脂・板金）・モデリング・機構設計】
- ・新しく工場を新設するために、研修を兼ねて従業員を増やしています。景気が今年は良くないと思われる為、不安が大きい。【発泡スチロール加工】

【建設業】

- ・鉄筋材料が急激に高騰している為、販売価格に全てを転嫁できない場合が多々あります。国内の建設量が少ない為、ゼネコン同士の競争が激化、またさらに下請会社同士で競争が起こり、労務費が下落している状況が続く、さらに今後も続くのではと予想しています。同業他社が後継者不足で会社を畳む事が多くありますが、さらに増えていくのではとも感じています。【鉄筋工事】
- ・民間需要が一時持ち直したように思えた時期もあったが、オミクロン株の感染拡大で不透明な状態に戻りつつある。公共工事は堅調である。【一般建設業、土木工事業、集合住宅内装工事業、集合住宅清掃事業】
- ・遠地での業務が好調。【電気通信施設の設計・施工・保守及びコンサルティング業務】
- ・コロナ関係の影響もあると推測されるが、公共工事が減少傾向と感じられる。民間工事は極端な減少は今のところない。但し、材料・外注等の仕入れ単価が大幅に上昇しており、収益率が低下することが懸念される。【土木建築の施工業】

【小売業・卸売業】

- ・為替の動向(円安)・受注減。【LCDモニター各種・タッチパネル各種・電子部品・ユニット品／電子ボード】
- ・輸出が堅調なため全体の売れ行きは、変わらないが、国内の消費が落ち込みのまま推移している。【健康食品の製造、卸】
- ・消費者の在宅の機会が多いことから、依然としてEコマース、通信販売の分野が好調である。【健康食品の小売・卸、玉葱皮茶など】
- ・新型コロナウイルスが流行しているこの2年間、学校への登下校が体育着となっている為、学生服販売の影響を多大に受けている。買い控え客が増加。【学生服、学校用品、小売販売】

【飲食業・サービス業】

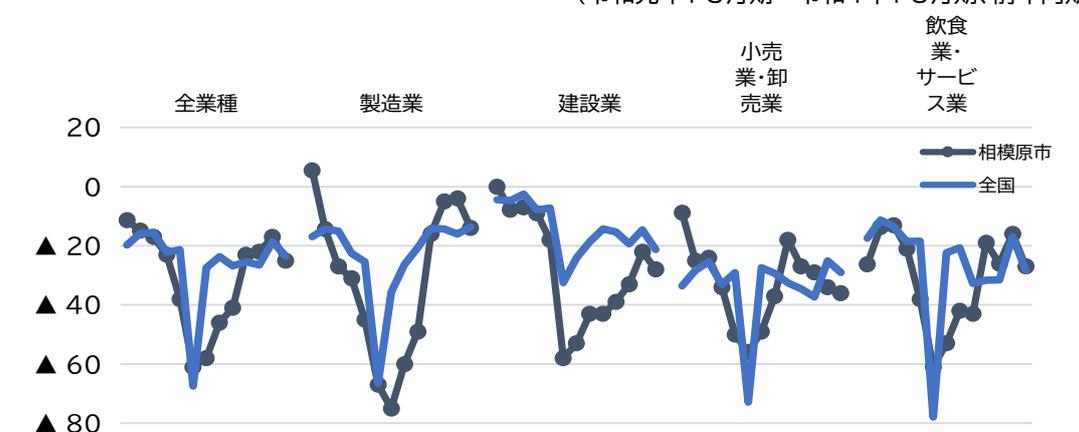
- ・GOTOトラベルの再開のめどもたたず、飲食関係の支援もなく、市として観光事業に支援してほしい。【旅行業】
- ・訪問介護は、対面サービスですので、コロナの感染が一番怖い。ヘルパーが感染すると、サービスが休止に追い込まれる。感染対策が第一、それに並んでヘルパーの増員計画が重要である。【訪問介護事業】
- ・時短営業に応じて協力金25万円／日は少ない。【レストラン】
- ・コロナ終息まで店をつづけていけるのか。【そば、うどん、和食】
- ・大型倉庫が原因か、ドライバー確保が難しい。有給による会社持ち出しが大きい【一般貨物自動車運送事業取扱事業】
- ・求人への応募不足、新型コロナウイルスの従業員感染増。【レンタカー事業、カーリース事業、中古車事業】

売上DI(前年同期比)の推移

全産業の売上DIは、前期▲17から▲25(前期差8ポイント減)と、やや悪化した。産業別にみると、製造業は▲14(前期差10ポイント減)、飲食業・サービス業は▲27(前期差11ポイント減)と悪化。建設業は▲28(前期差6ポイント減)、小売業・卸売業は▲36(前期差2ポイント減)は小幅の悪化であった。飲食業・サービス業の売上低下は再度のまん延防止の発令の影響と考えられる。製造業の悪化は、新型コロナ(特に中国)による輸入部品・部材不足の長期化によるものと思われる。

前期まで小売業・卸売業を除いて回復傾向にあった売上DIだが、今期はいずれの業種も低下した。前期上昇に転じた建設業も再度低下した。全国と比較すると、本市においては建設業と小売業・卸売業が低くなっている。

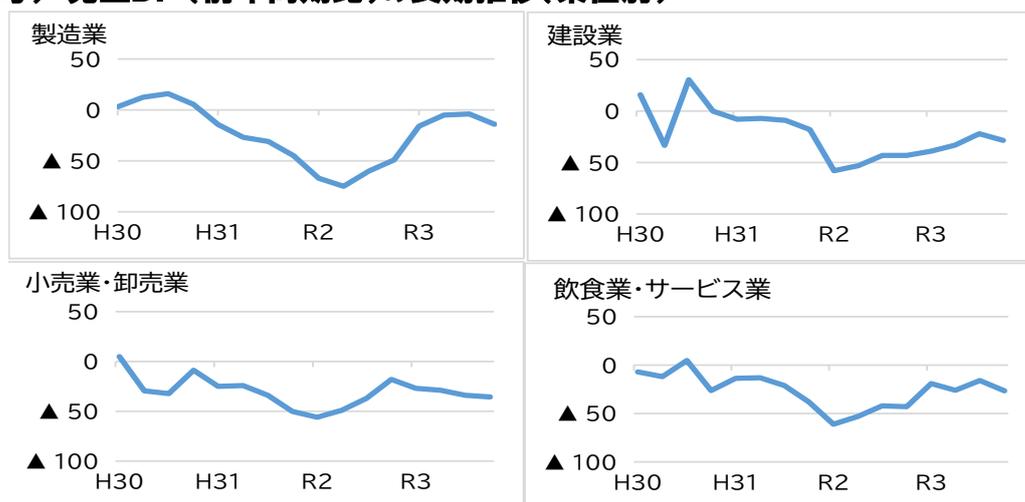
(令和元年1-3月期～令和4年1-3月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「売上額DI」を使用。

※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

参考) 売上DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



採算DI(前年同期比)の推移

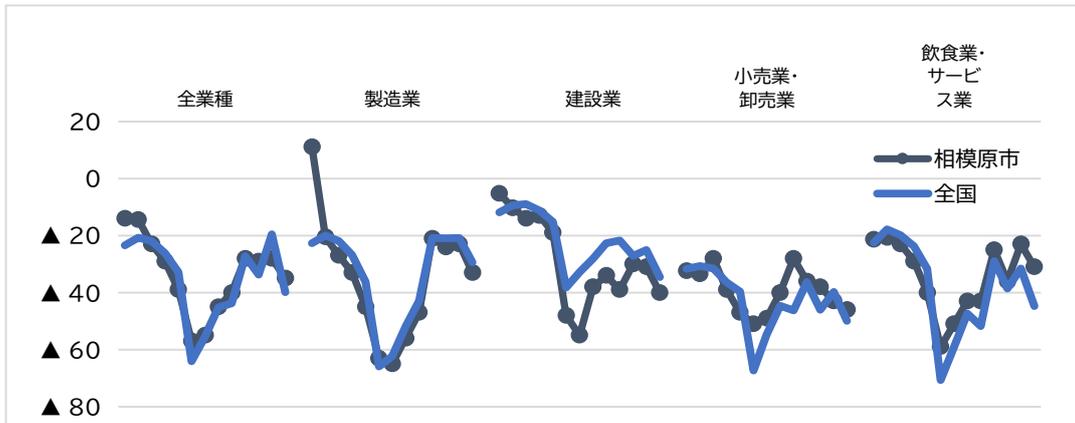
全産業の採算DIは、▲35(前期差7ポイント減)と、やや悪化。

産業別にみると、前期まで回復基調だった飲食業・サービス業が▲31(前期差8ポイント減)、製造業が▲33(前期差10ポイント減)と再度低下した。建設業も▲40(前期差9ポイント減)と更なる悪化である。小売業・卸売業が▲46(前期差3ポイント減)と小幅の低下にとどまった。

製造業と飲食業・サービス業は、売上の低下とともに採算性も悪化したようである。オミクロン株による消費減退に加えウクライナ危機による資材高騰の影響を受けているものと思われる。

産業別に今期の数値を全国値と比較すると、ほぼ全国と同様な傾向だが、飲食業・サービス業の採算DIは全国よりもやや良い。

(令和元年1-3月期～令和4年1-3月期、前年同期比)

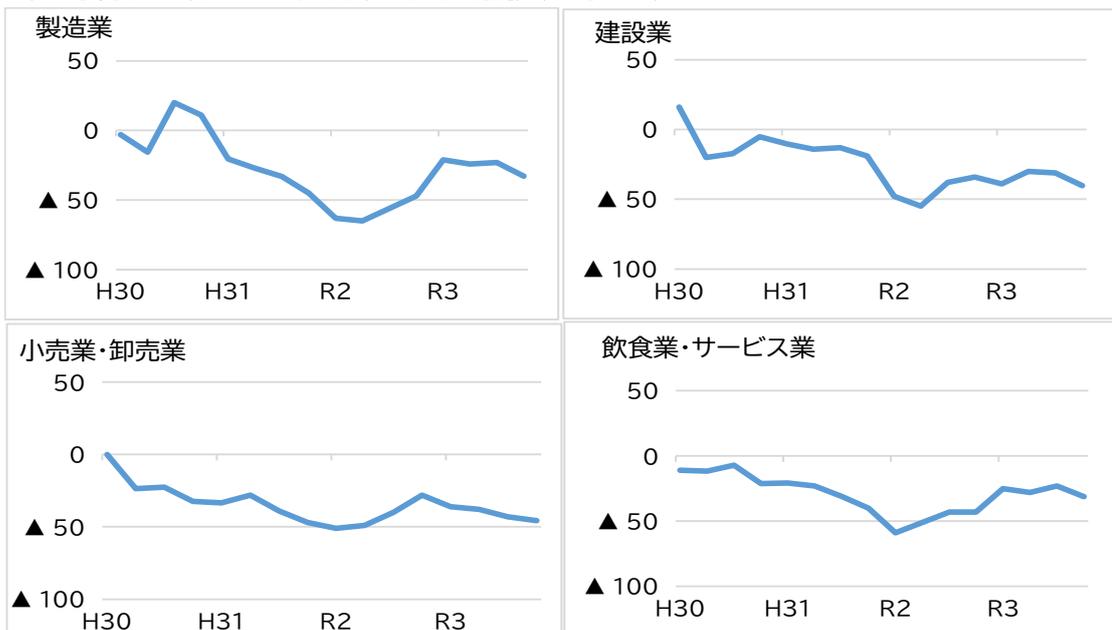


※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用

※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

※採算DIについて、当所では「採算」、中小企業庁は「経常利益」を質問項目としている

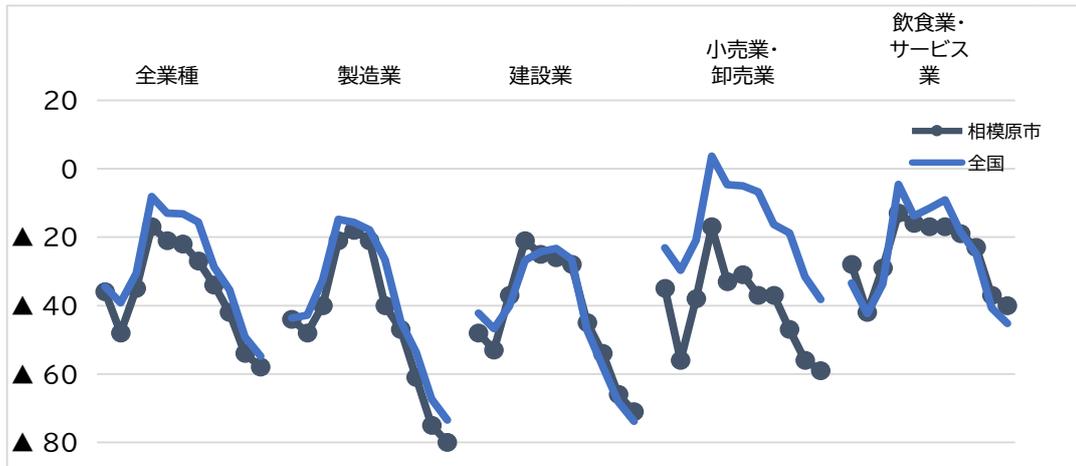
参考) 採算DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



仕入単価DI(前年同期比)の推移

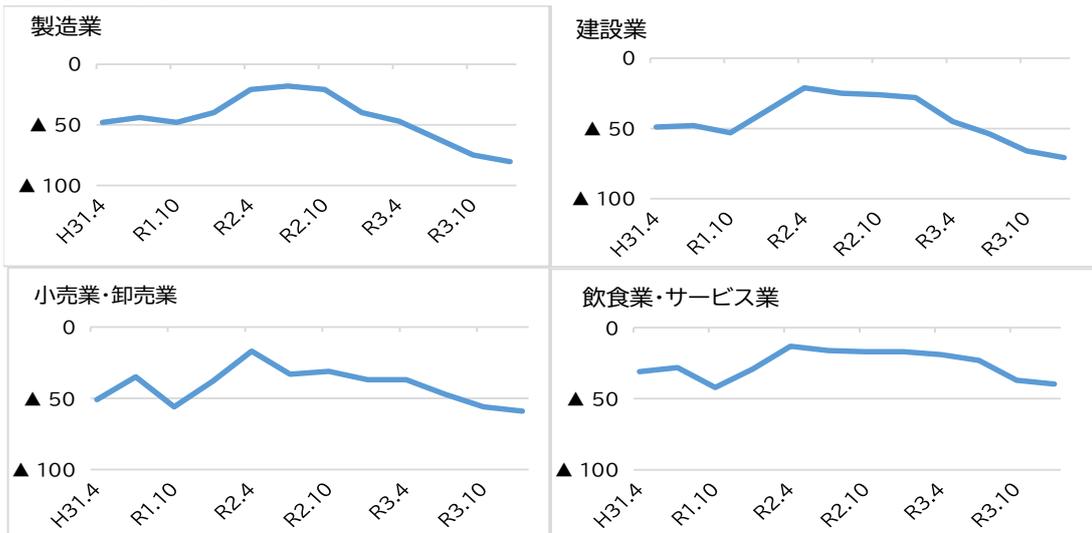
全産業の仕入単価DIは▲58(前期差4ポイント減)で、やや悪化。
 産業別にみると、製造業は▲80(前期差5ポイント減)、建設業は▲71(前期差5ポイント減)と、大部分の事業者が深刻な仕入価格上昇に悩んでいると思われる。小売業・卸売業は▲59(前期差3ポイント減)、飲食業・サービス業は▲40(前期差3ポイント減)と、一般消費財についても、値上がりが進んできている。
 全国との状況と比較すると、小売業・卸売業において当市では値上がりの影響が大きくなっている。

(令和元年4-6月期～令和4年1-3月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「原材料・商品仕入単価DI」を使用。
 ※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用
 ※仕入単価DIについて、当所では「DI=下落—上昇、中小企業庁は「上昇—低下」で算出。
 比較にあたっては、全国値の符号を反転させている。

参考) 仕入単価DI (前年同期比)の長期推移(業種別)



販売単価DIの推移

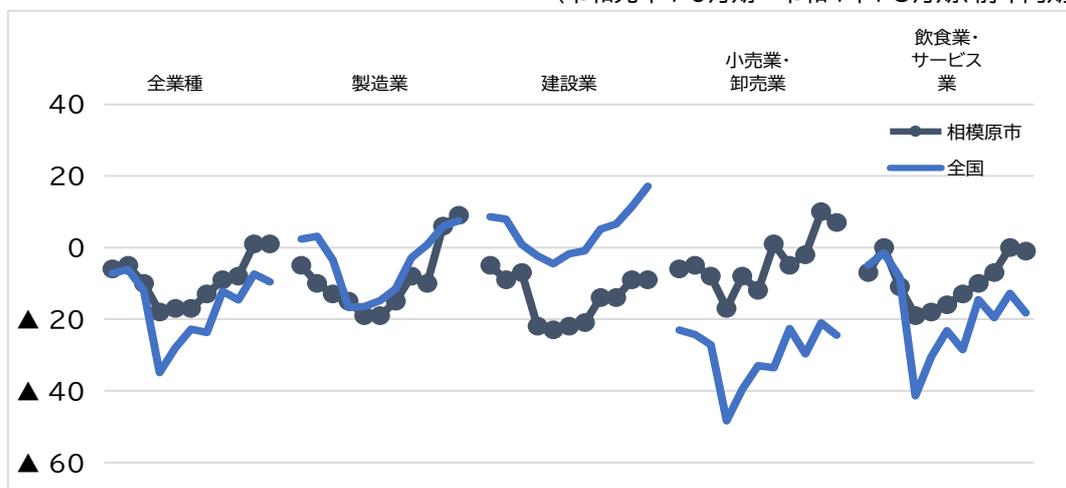
販売単価DI(前年同期比)の推移

全産業の販売単価DIは、1(前期差±0ポイント)と変わらなかった。

産業別にみると、増加したのが製造業で9(前期差3ポイント増)だった。小売業・卸売業も7(前期差3ポイント減)と、勢いは落ちたが価格上昇は続いている。飲食業・サービス業が▲1(前期差1ポイント減)、建設業は▲9(前期差±0ポイント)と、前期とほぼ変わらなかった。建設業を除いては、価格上昇の傾向にストップがかかった形となっている。

産業別に今期の数値を全国値と比較すると、建設業の価格競争は全国より厳しい状況が続いている。小売業・卸売業、飲食業・サービス業は、全国に比べてデフレ傾向は収まってきている。中国コロナ拡大やウクライナ危機による全業種にわたりモノ不足が拡がり、原料や製品への価格転嫁が徐々に進みつつある。

(令和元年4-6月期～令和4年1-3月期、前年同期比)

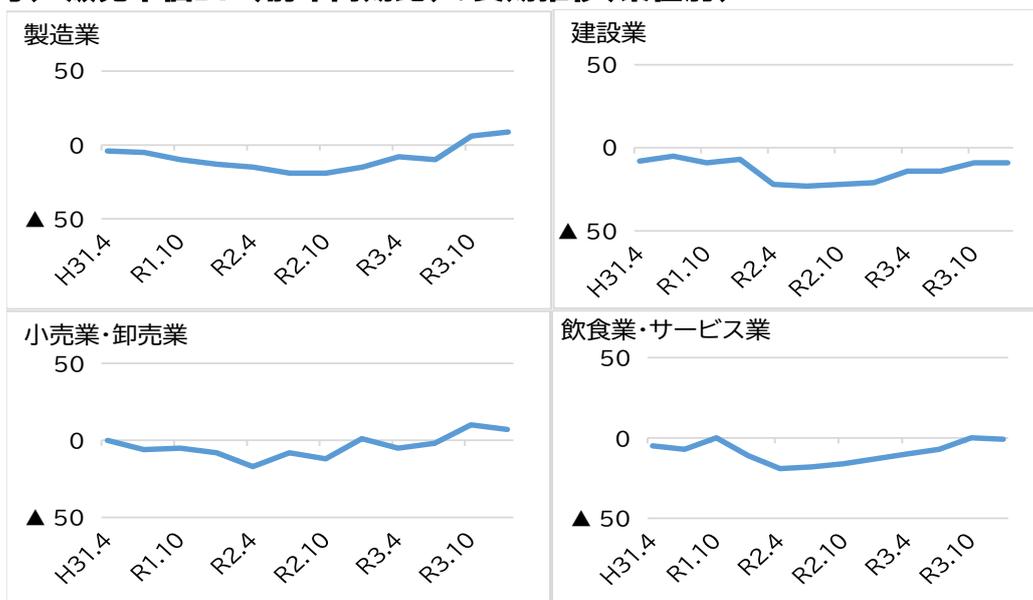


※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「販売単価・客単価DI」を使用。

※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

※建設業については、全国値は日本商工会議所「早期景気観測商工会議所 LOBO/建設業令和3年9月」分類の値を使用

参考) 販売単価DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



従業員DIの推移

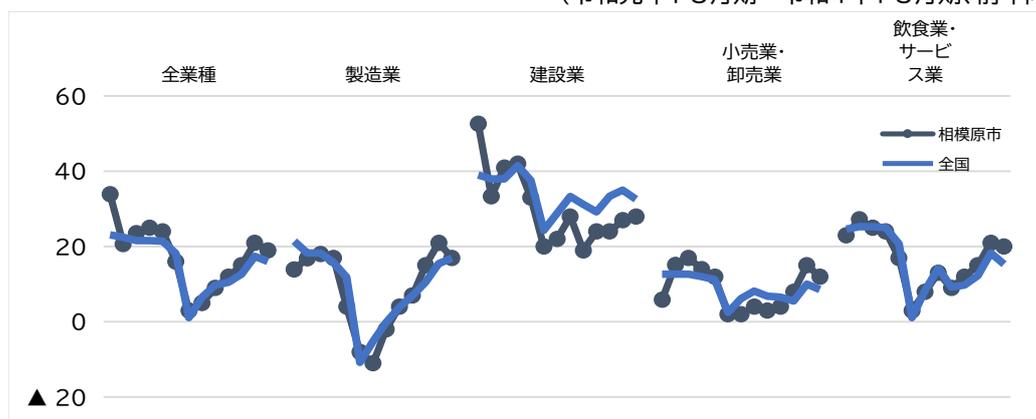
従業員DI(前年同期比)の推移

全産業の従業員DIは、19(前期差2ポイント減)で、小幅の悪化。

産業別では、以前より人手不足だった建設業は28(前期差1ポイント増)、飲食業・サービス業は20(前期差1ポイント減)、製造業は17(前期差4ポイント減)、小売業・卸売業が12(前期差3ポイント増)と、全業種であまり動きはなかった。

産業別に今期の数値を全国値と比較すると、いずれの業種も全国と同様なDI値になり、人手不足感の差はなくなってきている。

(令和元年1-3月期～令和4年1-3月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「従業員数過不足DI」を使用。

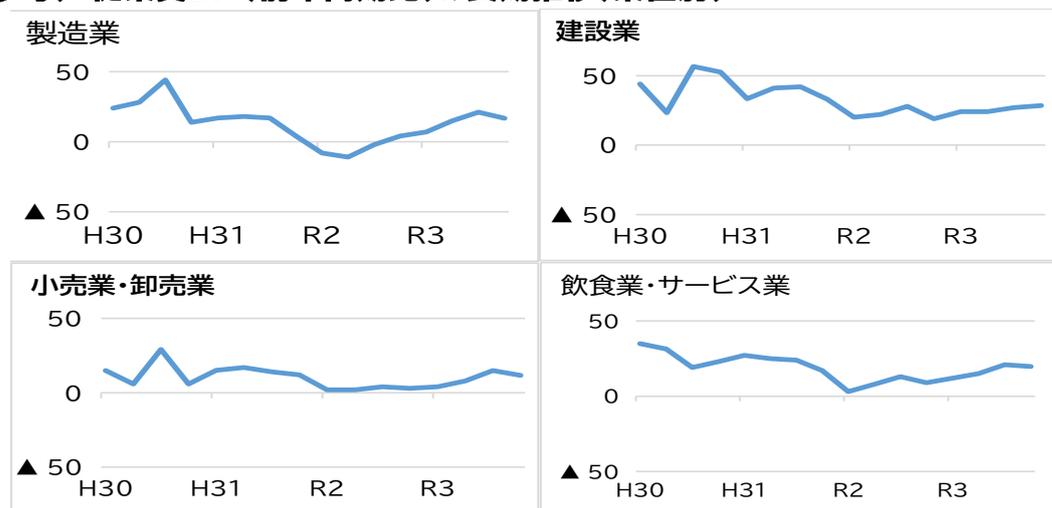
※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

※従業員DIについて、当所では「前年同期比」、中小企業庁は「今期の水準(過去との比較ではない)」を調査

※従業員DIについて、当所では「DI=不足-過剰、中小企業庁は「過剰-不足」で算出。

比較にあたっては、全国値の符号を反転させている。

参考) 従業員DI(前年同期比)の長期推移(業種別)

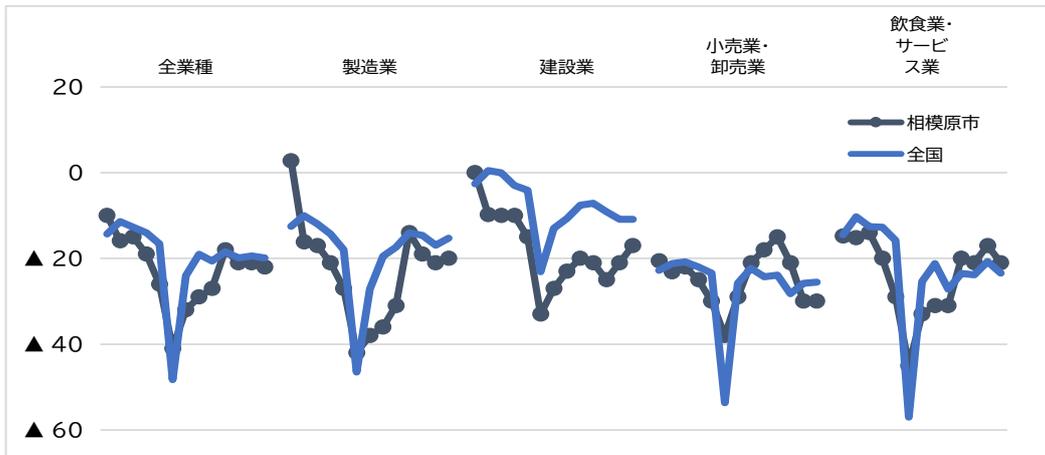


資金繰りDI(前年同期比)の推移

全産業の資金繰りDIは、▲22(前期差1ポイント減)と前期並みであった。
 産業別にみると、建設業は▲17(前期差4ポイント増)、製造業は▲20(前期差1ポイント増)で小幅の改善。飲食業・サービス業は▲21(前期差4ポイント減)とやや悪化した。小売業・卸売業は▲30(前期差±0ポイント)で前期並であった。全産業で資金繰りの状況の改善は足踏みが続いている。今年からコロナ関連融資の元本返済が始まる事業者がでてくるため、今後の資金繰り悪化が懸念される。

産業別に当市の今期の数値を全国値と比較すると、飲食業・サービス業を除いて当市のほうが資金繰りの状況がやや悪い。

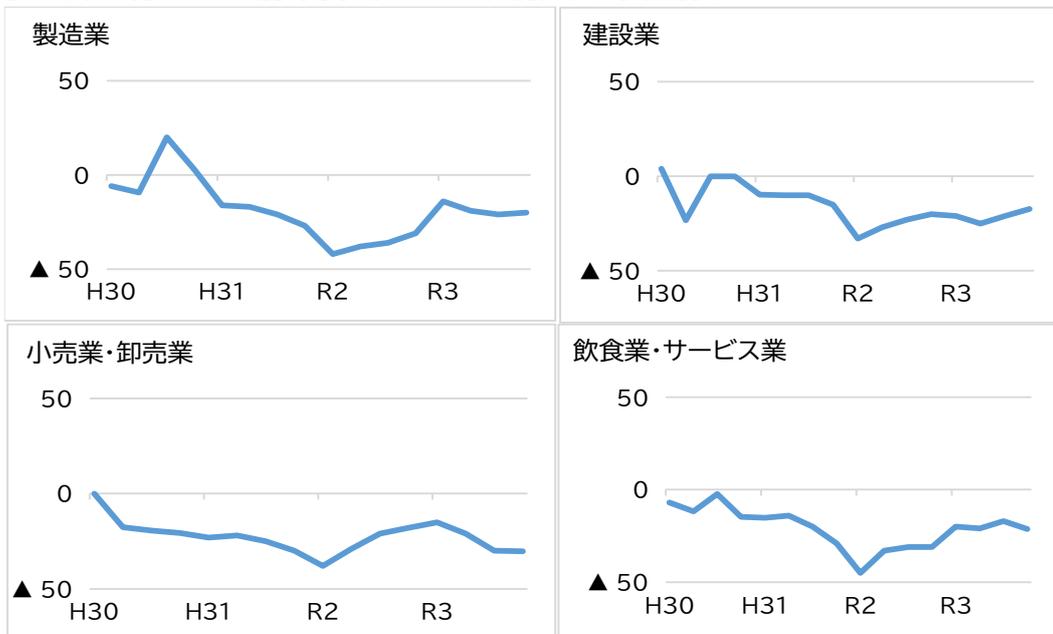
(令和元年1-3月期～令和4年1-3月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用

※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

参考) 資金繰りDI(前年同期比)の長期推移(業種別)



集計表(景気観測調査)

			今期(R4.1~R4.3)				次期見通し(R4.4~R4.6)			
			売上:増加 採算:資金、総 仕入:下落 販売:上昇 従業員:不足	不変	売上:減少 採算:資金、総 仕入:上昇 販売:下落 従業員:過剰	合計/DI値	売上:増加 採算:資金、総 仕入:下落 販売:上昇 従業員:不足	不変	売上:減少 採算:資金、総 仕入:上昇 販売:下落 従業員:過剰	合計/DI値
製造業	売上	サンプル数	67	50	97	214	57	94	63	214
		構成比	31	23	45	▲14	27	44	29	▲3
	採算	サンプル数	33	78	103	214	27	113	74	214
		構成比	15	36	48	▲33	13	53	35	▲22
	仕入単価	サンプル数	2	38	174	214	2	60	152	214
		構成比	1	18	81	▲80	1	28	71	▲70
	販売単価	サンプル数	40	153	21	214	56	134	24	214
		構成比	19	71	10	9	26	63	11	15
	従業員	サンプル数	48	154	12	214	43	158	13	214
		構成比	22	72	6	17	20	74	6	14
資金繰り	サンプル数	22	127	65	214	16	146	52	214	
	構成比	10	59	30	▲20	7	68	24	▲17	
業況	サンプル数	32	91	91	214	26	115	73	214	
	構成比	15	43	43	▲28	12	54	34	▲22	
建設業	売上	サンプル数	26	51	67	144	20	66	58	144
		構成比	18	35	47	▲28	14	46	40	▲26
	採算	サンプル数	9	68	67	144	7	73	64	144
		構成比	6	47	47	▲40	5	51	44	▲40
	仕入単価	サンプル数	3	36	105	144	4	33	107	144
		構成比	2	25	73	▲71	3	23	74	▲72
	販売単価	サンプル数	15	101	28	144	20	88	36	144
		構成比	10	70	19	▲9	14	61	25	▲11
	従業員	サンプル数	43	99	2	144	42	99	3	144
		構成比	30	69	1	28	29	69	2	27
資金繰り	サンプル数	8	103	33	144	7	98	39	144	
	構成比	6	72	23	▲17	5	68	27	▲22	
業況	サンプル数	5	80	59	144	4	75	65	144	
	構成比	3	56	41	▲38	3	52	45	▲42	
小売業・卸売業	売上	サンプル数	22	39	68	129	19	56	54	129
		構成比	17	30	53	▲36	15	43	42	▲27
	採算	サンプル数	10	50	69	129	16	59	54	129
		構成比	8	39	53	▲46	12	46	42	▲29
	仕入単価	サンプル数	3	47	79	129	2	43	84	129
		構成比	2	36	61	▲59	2	33	65	▲64
	販売単価	サンプル数	30	78	21	129	34	77	18	129
		構成比	23	60	16	7	26	60	14	12
	従業員	サンプル数	19	106	4	129	18	106	5	129
		構成比	15	82	3	12	14	82	4	10
資金繰り	サンプル数	3	84	42	129	4	89	36	129	
	構成比	2	65	33	▲30	3	69	28	▲25	
業況	サンプル数	6	62	61	129	7	72	50	129	
	構成比	5	48	47	▲43	5	56	39	▲33	
飲食業・サービス業	売上	サンプル数	56	147	150	353	62	173	118	353
		構成比	16	42	42	▲27	18	49	33	▲16
	採算	サンプル数	36	171	146	353	34	196	123	353
		構成比	10	48	41	▲31	10	56	35	▲25
	仕入単価	サンプル数	6	201	146	353	4	217	132	353
		構成比	2	57	41	▲40	1	61	37	▲36
	販売単価	サンプル数	35	280	38	353	40	280	33	353
		構成比	10	79	11	▲1	11	79	9	2
	従業員	サンプル数	78	267	8	353	78	265	10	353
		構成比	22	76	2	20	22	75	3	19
資金繰り	サンプル数	18	242	93	353	15	247	91	353	
	構成比	5	69	26	▲21	4	70	26	▲22	
業況	サンプル数	28	191	134	353	24	210	119	353	
	構成比	8	54	38	▲30	7	59	34	▲27	
全業種 総合	売上	サンプル数	171	287	382	840	158	389	293	840
		構成比	20	34	45	▲25	19	46	35	▲16
	採算	サンプル数	88	367	385	840	84	441	315	840
		構成比	10	44	46	▲35	10	53	38	▲28
	仕入単価	サンプル数	14	322	504	840	12	353	475	840
		構成比	2	38	60	▲58	1	42	57	▲55
	販売単価	サンプル数	120	612	108	840	150	579	111	840
		構成比	14	73	13	1	18	69	13	5
	従業員	サンプル数	188	626	26	840	181	628	31	840
		構成比	22	75	3	19	22	75	4	18
資金繰り	サンプル数	51	556	233	840	42	580	218	840	
	構成比	6	66	28	▲22	5	69	26	▲21	
業況	サンプル数	71	424	345	840	61	472	307	840	
	構成比	8	50	41	▲33	7	56	37	▲29	

集計表(トピックス)

製造業
1～3月は取引先の新システム導入への対応や、輸入品の入荷の遅れなどで業績に影響があったが、ベースとなる受注量は大きく変わっていないので、3月以降は昨年並みに戻る予定。一部で受注が大きく増える兆候があり、作業員の不足と人件費の増加が懸念される。【文具用品、医療衛生用製品、化粧品、工業用製品の加工、検査及び包装】
1月末まではかなり回復傾向にありましたが、ここへ来て最終メーカーで半導体不足に伴う生産調整が始まっており足踏み段階にあると思われる。先行きの不透明感は例年よりも大きい。【金属部品製造】
ウクライナ、ロシアの戦争が長引けば原料高供給が不足の問題。【ポリエチレン、フィルムの製造加工販売】
コスト増。【食品】
コロナ、ウクライナ等の問題による景気悪化。【食品加工機械製造販売】
コロナ、ウクライナ問題による世界的閉塞感。【製缶板金】
コロナが終息しそうな昨年11月から徐々に注文は回復傾向にあったが、オミクロンの急拡大により足踏み。財布の紐も硬く、一定価格をなかなか超えない。小物製作販売は少しずつ注文が増えて、なんとか凌いでいる。ウクライナの戦争も先々心配。材料費、交通費が更に高騰しそう。新商品をまた開発していきたい。【畳製作、網戸張替え、畳小物製作】
コロナで低迷していることが当たり前になって緊張感が無くなってきている。【段ボール製函紙器一式・包装資材販売】
コロナの影響で海外製品が大不足。【アルミダイカストで生産される製品の良品製造の為の補材、ランナー加圧システム、新局部加圧システム、スーパーダイカストシステム】
コロナの影響変わらず。【高周波誘導加熱装置製造】
コロナの収束が見えてくれば、さらなる売上増加が期待できる。(当社製品は医療関係が使われている)【プリント基板設計・製造(電子回路)】
コロナの終息はいつか？電気部品の納期の健全化はいつ？【プラスチック押出成形用機械の製造販売、修理】
コロナの状況によって売上予測が変化するので予想がつかない。【組みひも製造・販売】
コロナ影響が大きく、売上、受注減少。【溶接機・工作機械・金属3Dプリンターの輸入販売、自社製品の設計開発、販売。】
コロナ禍、及びウクライナの問題。【金属部品切削加工】
コロナ禍で停滞していた生産設備投資が回復している(特に食品業界)。【X線装置の製造・販売】
コロナ禍において飲食店の営業に制限がかかっていることの影響が大きいです。【ガラス瓶の製造】
コロナ禍により、予定案件の延期が続いている。状況の改善が全く見えない。【電子回路基板設計／製造／販売】
コロナ関係が引合い減少。【真空化学、宇宙機器、製作、販売】
コロナ終息に伴い、輸入再開による部品調達が容易になること。【金属表面処理加工業、アルミイト加工・フープ金めっき】
すべての物、値上げ。【金属熱処理】
ロシア・ウクライナ問題により今後の景気低迷に拍車がかかりそう。【プラスチック加工】
テレビ局、ラジオ局が最終ユーザーであるが、設備投資がコロナ禍の中少なくともなっている。雇調金頼みもいつ迄か、なかなか立ち上がりが厳しい。【業務用放送機器(電子機器)製造】
どこも忙しい反面資材調達難で非効率な先が多いと感じている。【金属製品製造業】
まん延防止等重点措置の延長による消費の悪化！ガス代や仕入れ品の高騰による収益悪化。【段ボール製品、製造販売】
ロシア・ウクライナ問題の長期化がもたらす、材料費・物流費の更なる悪化の影響。【産業エンジン、発電用エンジン、発電セット、ターボチャージャ】
ロシア・ウクライナ問題が今後どう影響してくるか不安。【生産設備の設計製作、改造、メンテナンス】

ス】
ロシアへの経済制裁による麦、トウモロコシ、エネルギーの暴騰。【鶏卵】
引き合いもだんだん増えてきているが、電気部品の入荷が、半年待ちや納期末定で製造スケジュールがうまく回らない。【超音波バリ取り洗浄装置の製造販売】
何とかしてください。いつも同じ答えです。【印刷】
見積だらけで案件が来ない。ネット販売へ業務転換予定【プラスチック金型設計・筐体設計(樹脂・板金)・モデリング・機構設計】
原材料(金属類、ガスなど)の値上げ。【精密一般板金加工業】
原材料不足に伴い、納期末定の仕入品が多い事と、仕入単価の向上、円安による海外輸入品の仕入単価向上。【通信ケーブル及び周辺機器の製造、販売】
原油、鉄等の高騰に伴う原材料価格の近年にない急激な上昇。【ショットブラストおよび塗装】
原油高による調達コストの上昇が痛い。【FRP大型造形製造】
原料価格の上昇、原料不足が深刻です。【食品製造】
現在人材不足(長期に休んでいる人間と急に退職した人など)でハローワークに求人を出しているがなかなか集まらない。仕事があっても人がいないというのが現在の悩みです。【木材梱包、パレット製作、鉄製品種々製作】
購入品、特に電機部品、モーターなど仕入れの納期が掛かりすぎて受注チャンスを逃している。【機械設計製作】
今までも人手不足で困っていたが、今後ますます高齢化も伴い辛くなると思われる。他方、あらゆる分野での仕入れ値の値上げが厳しい。【工業製品塗装】
材料が手に入らない。【精密機械の製造・設計】
材料が入りにくい、注文キャンセルが多い。【金型プレス加工】
材料の調達に苦労している。【プリント基板加工】
材料の調達困難及び納期長期化による製造工程の長期化(在庫増)、物流の停滞によるリードタイム長期化及び物流費のコストアップ。【圧着端子製造販売/圧着機械製造販売/コネクタ製造販売/ワイヤーハーネス加工/省力化自動機製造販売/プレス金型製造販売/成形組立品製造販売】
材料の入手に通常の4倍の時間がかかる上に費用も2割上がっている。【産業用モーター制御装置の製造販売】
材料価格の高騰・乱高下。【電力機器、配電機器、免震・制振・制音デバイス、精密デバイス】
材料仕入値段の上昇で厳しい。【自動車用オイルフィルター部品製造】
材料調達困難、材料単価が高騰しているため、受注するものの製造納期末定のもが増え続けている。【ワイヤーハーネス加工・販売】
材料入手困難、仕入れ単価上昇。【精密機器の設計・製造・販売、梱包業】
材料費、薬品代・フィルム等の石油製品の価格の上昇の激しさ。【金属銘板及びシール・ステッカー・シルク印刷】
材料費が毎月値上りしている。【シャフト・ベアリングケース】
材料費高騰による仕入れ単価の上昇。売値への転嫁の遅れ。【パッシブ除振台・アクティブ除振台・防振装置・各種防振ゴム・制振材・吸音材・除振工事・防振工事・制振工事・除振コンサルタント・振動測定及び解析】
材料費等仕入れ単価の上昇を価格に転嫁できるかどうかが今年度の課題となります。【段ボール箱等紙製品製造加工業】
昨年の同時期に比べて明るい兆しはありますが、確定ではない。【金属、樹脂部品の切削加工、省力化装置の設計、製作】
昨年末から徐々に依頼も戻ってきた感じがしてましたが、オミクロンの増加で個人客は伸び悩む。取引先から数量のある現場依頼があったのですが、単価はギリギリ。入金があって支払いに回す感じで残らない。お客様、エンドユーザー様、財布の紐は硬い。【畳製作一式、網戸張替え、畳材小物】
仕事の受注量が50%~30%減っており、売上減少。会社継続が困難になっています。【コンパ

一、工場総合設備(配管工事等)】
仕事の先送り、材料が入手困難。【工場生産設備等の組立、制御盤設計製作】
仕事量の受注の減少傾向が続きそう。【自動車部品プレス金型設計製作】
仕入れ単価が軒並み上昇している。【置製作】
仕入れ品の値上げが加速、厳しい状況。【自動車部品用検査治具】
仕入れ部材の高騰。【農業機械、産業機械、建設機械、自動車その他各種機械器具ならびにその部品の開発、設計、試作、製造、販売及びメンテナンス等の業務】
仕入単価の上昇。【ネームプレート印刷】
仕入品(金属、溶剤、ガス、オイルなど)すべて、高騰しており、毎月価格改定書が届いており、それを販売価格に上乘せたく、大手に交渉していますが、改定されないまま、販売が続いている。【建設機器、生産設備の金属部品加工、橋りょう部品等】
仕入部品の品薄、価格上昇がマイナス要因【金属製品製造】
自動車メーカーの休業。【切削工具】
社員の高齢化。【金属表面処理業】
社会的需要の変化、将来への思案中。【輸送機運搬補助(自動車用リフト、車椅子リフト)】
受注単価のコストダウン、仕入れ単価の上昇。【精密板金加工業】
受発注の状況。【精密部品等の設計製作】
受発注状況【精密部品加工、治具製作設計】
収益性に対しての従業員待遇の対処。【上水道継手・自動車部品・防災製品】
収益率の低下。【印刷業】
消耗品の高騰(銅)。【金属機械部品貨加工】
新しく工場を新設するために、研修を兼ねて従業員を増やしています。景気が今年は良くないと思われる為、不安が大きい。【発泡スチロール加工】
新型コロナウイルスの影響。【臨床試験薬の開発、製造、販売】
世界的なコンテナ不足で主原料のジーンの入荷が2ヶ月遅れで一部工場を休業。【ジャズポップコーン、ポップコーン原料豆】
世界的な材料や部品不足で、力がある所、例えばトヨタ等が世界中からかき集めて、こちらに回ってこず、製品が作れないことが増加した。【電子部品(水晶デバイス、センサー等)のソケットの開発・製造・販売です。】
設備更新。【プラスチック射出成形】
先行き不透明。【ゴムパッキン加工】
前年同期比で売上高が鈍化、好転の推しを期待する。【人工大理石による家具、装備品製造業】
全ての材料、副資材、仕入品の値上げに対して、全製品販売への価格転嫁が出来ない。【角型紙管の製造】
相変わらずコロナ禍の影響を大きく受けている状況。【産業用自動機の開発・製造・販売】
大幅は売上減少ではないものの、設備投資控え、コロナの影響は多少出始めており、仕入れ高騰は値上げせざるおえない程度になってきている。投資控えに値上げと更なる売上の減少がないか懸念する。【コンピュータストレージの開発、製造、販売】
注文数が減っている。【会社、大学等からの試作依頼】
注文量が減った。【金属機械加工】
電気代アップが不安。【金属製品加工(熱処理)】
電気部品、プラスチック部品、等の品薄、納期遅延、値上げが業績に影響している。【光学機器の設計・製造】
電気部品の入手が困難となり致命的である。部品さえ入手できれば毎年通りの売上げになるのだが電気部品が入らない為、仕事ができない状態になっている。【制御盤製作、工場などで使用する機械の電気配線作業】
電気部品の入手が困難になり、製品を納品することができず売り上げをたてられない。【各種自動制御装置の設計、製作、施工、関連電気工事】
電子部品、半導体の仕入、困難、価格上昇。【医療機器および関連商品の研究開発、製造販売】

電子部品の入手難による間接コストアップに加えて、仕入れ価格もアップしている。しかしながら販売価格への転嫁が難しいケースが多い。【電子応用装置の設計・製造・保守・防犯機器の販売・保守】
当社に係る業界の景況感は悪くないがロシアのウクライナ進行が今後どのように影響してくるかが不安を感じる。材料、燃料、人件費、運賃、消耗品等すべてがアップする中、材料以外の値上がり分を部品単価に転嫁することが出来ない中で賃上げをしていくことに将来への不安を強く感じる。【建設機械部品製造】
同業者が増えてやりづらい。【菊芋の加工、チップ化と粉末化】
売上及び収益の低下、工場本体及び機械設備の老朽化、従業員の高齢化、人材の不足。【軟質ウレタンフォーム加工及びウレタンチップフォーム製造加工】
売上不振。【自動車部品・空調機器等、金属製品塗装】
半導体ショックにより電気部品が入荷出来ず、販売不振【自動販売機設計・製作・販売】
半導体に関わる製品についての受注は軒並み減少している。景気の見通しは予想できず、雇用についても例年を参考に進める事は出来ない。【金属加工(旋盤、マシニングセンター)トラック、フォークリフトの足回り部品、半導体装置の部品加工】
半導体関連を除き、不況感続きそう。人手も採用出来ない。【金属表面処理】
半導体不足から来る自動車生産台数の減少が長引いている。【自動車用塗料の製造、販売】
半導体不足の影響による部品調達の見通しがたたない。【半導体部品、計測機器、医療器装置等の板金製作】
半導体不足の状況下ではあるが受注は好調。来期以降は反動が懸念される。【プリント配線板製造】
半導帯・部材不足による受注減少、ロシア・ウクライナ情勢の今後の影響について【縫製関連】
不況。【紙管の製造販売】
部材の仕入れ単価の上昇と未入荷。【ロータリーエンコーダ及びダイレクトドライブモータの設計・製造・販売】
部材の調達悪化の傾向が続いている。【電鉄会社向け計測装置の製造】
部品調達が思うようにならず、親会社の製造台数の減少【工作機械部品、半導体製造装置部品】
部品納期が長期化しており、受注をしても納品が出来ない。【電子機器設計・製造・販売】
部品不足、材料費の上昇。【精密板金加工】
部品問題が大きく影響し、1年先の部品発注をする異常事態になっている。また、多くのコストで値上げ要求がある。【無線機、AUDIO機器、カラオケ機器、上記、関連のODM機器の設計、製造、販売、また、米国MOTOROLA社の無線機器の購入、販売】
物流、景気が止まっている感じを受ける。【ヨットのマスト(アルミ)リギン(ワイヤー設計製造)】
問題点として仕入れ単価の上昇もあるが、仕入れが出来ない(納期が出てこない)問題も発生している。【電気・電子機器(雷対策製品)】
様々な仕入れ部品の長納期化が懸念される。【プレス機械及び産業用設備の製造販売】

建設業
大型開発案件一服感における、受注競争の激化、受注競争下における働き方改革に伴う作業所閉鎖日目標の実現、世界規模のコロナ禍、異常気象、ウクライナ情勢に伴う、資機材価格の上昇および納期の長期化。【土木、建築工事請負事業、不動産事業】
アフターコロナ後の緩やかな回復の継続。【通信機器販売・施工・設置・保守】
インフレの影響により収益減、弊社規模に合わない大型案件が来年度は多い。来年度以降徐々に案件が減少する可能性あり。【クリーンルーム住宅介護支援】
ウクライナ危機の影響。【空調設備工事】
オミクロン株の影響もあり、仕事量・雇用が激減。【測量、大工工事業】
コロナ、ウクライナの情勢で海外から部品やLED関係の物が入らなくなっているため、工事の遅れや時期の変更があり売上が上がらない、収益がなかなか見込めない状態になっています。【看板製作・設置/金物製作/電気工事】

コロナウイルス感染症の影響を受け受注減少。【一般住宅建築業】
コロナにかかり売上ともに大変。【土木作業】
コロナによる民間工事の減少を受けて、民間工事を主としている会社が公共工事に積極的に参加してくることによるしわ寄せ。【土木工事】
コロナの影響はあり、全盛期よりも20%前後減でしたのでそのあたりは覚悟してるんですが、前期の給付金の時と違い今期の10万円でのお客の動きを感じなかった。【エクステリアの工事 販売】
コロナ関係の影響もあると推測されるが、公共工事が減少傾向とかんじられる。民間工事は極端な減少は今のところない。但し、材料・外注等の仕入単価が大幅に上昇しており、収益率が低下することが懸念される。【土木建築の施工業】
コロナ不況が続きまわり中、やる気がなくなっているのも仕事もないが職人不足です。オンラインでできない仕事もある事を問題にして下さい。休日も祭日も多い為、仕事が滞ってしまいます。土日休みの仕事だけではないのですから。
コロナ融資で一時的に資金があるからか無謀な見積もりで受注する業者がでてきて少しずつ仕事量増えてきても採算がとれない状況が続く。【公共工事(下請け)、ビル、マンション、テナントの内装工事】
遠地での業務が好調。【電気通信施設の設計・施工・保守及びコンサルティング業務】
休日が不定の為従業員が集まらない。【工場・テナントの内装工事】
景気状況に関わらず、毎年度の会社業績、賞与にて配分。【土木、舗装工事】
原材料の高騰。【特注家具設計施工】
原材料の値上り。【建築金物加工】
原材料費。【カーテン】
顧客の投資マインドが低下。【電気設備工事業】
材木、住設機器等の部材高騰、(合板類は既に2倍UP)、給湯器の流通激減(ほぼ無し)。【リフォーム工事・賃貸管理・トランクルーム・売買仲介】
材料高騰。【塗装防水請負】
材料費の高騰。【型枠工事業】
材料費の高騰。【内装仕上げ工事】
昨年に受注した案件で凌いでいますが、今年の先行きは全く見えていません。【空調機器】
仕入れ単価が上がってきてるのが気になります。【建具工事業】
仕入単価の影響が徐々に圧迫度合いを増している。半導体不足の影響で器具関係の入手が困難を極めている。コロナの影響で公共事業の延期もあった。世界情勢の変動で原油高騰に端を発し物価の高騰を切実な状況である。【設備工事・電気工事・建築工事】
仕入単価の急上昇。【主に大工業】
仕入単価の上昇が今後収益に影響する。【土木工事業】
仕入単価上昇(4月より)気になる。【外構工事】
受注の減少。【電気工事業】
従業員不足。【戸建住宅リフォーム】
商品の供給減少により、工事延期で売上不振。【通信工事業、ナースコール機器(保守、施工、販売)】
商品の不足。【リフォーム、空調】
人手不足、出来る人材がいない。【水道工事業】
人手不足。【家屋解体業、産業廃棄物処理業】
政情が不安定すぎる事、コロナに過度に敏感になりすぎる事、少子化、ウクライナ侵攻。【住宅・リフォーム・工場・事務所・アパート等】
全般的に仕入単価が上昇している感。毎週メーカーより値上げの連絡が入る。が、消費が低迷しているため、必要な工事行われるが、投資的な工事が少なく感じる。【管工事業】
相模原市自前の予算が少なすぎる。国費の補助がなくなると大幅な売上減少になる。【道路交通安全施設設置工】

値上げ、材料不足。【一般住宅改装工事】
鉄筋材料が急激に高騰している為、販売価格に全てを転嫁できない場合が多々あります。国内の建設量が少ない為、ゼネコン同士の競争が激化、またさらに下請会社同士で競争が起こり、労務費が下落している状況が続く、さらに今後も続くのではと予想しています。鉄筋材料が高騰している為に労務費が削られている状況もあります。同業他社が後継者不足で会社を畳む事が多くありますが、さらに増えていくのではとも感じています。【鉄筋工事】
働き手の不足。【土木工事業】
特に不況とは感じませんが、何か調子が悪い(全般的に)、コロナの影響で商品入荷が出来ない。【給排水衛生設備工事業(管工事)】
燃料の高騰、消耗品の値上がり。【コンクリート圧送工事業】
燃料ほかの上昇による物価高。【総合建設業】
売上不振。【地盤調査、測量、地盤改良工事、杭打工事、傾斜建物修復工事の設計、施工】
半導体、樹脂関係等の資材が手に入らない。【電気設備工事】
半導体不足、ベトナムのロックダウンによる製品供給不足のため、依頼はあるが品物が無い。【ポンプ・送風機のメンテナンスおよび交換】
半導体不足による納期(工期)遅延。【立体自動倉庫を中心としたマテハン機器のメンテナンス及び付帯する改修工事、修繕工事など】
物価上昇による材料費のコスト増。【原状回復リフォーム】
物流は戻りつつあるものの、価格は高水準を保ったまま。【一般建築請負、リフォーム、木材販売】
民間需要が一時持ち直したように思えた時期もあったが、オミクロン株の感染拡大で不透明な状態に戻りつつある。公共工事は堅調である。【一般建設業、土木工事業、集合住宅内装工事業、集合住宅清掃事業】
予想以上に工事発注が減少している。【管工事】

小売業・卸売業
為替の動向(円安)・受注減。【◇LCDモニター各種・タッチパネル各種・電子部品・ユニット品／電子ボード◇機構設計・電気設計の請負】
売上、業績は感染者数状況変化により変わってきます。上記予測は現状のまま想定したものです。4月より多くの商品の値上げが予定され、世情から考えてしばらく続くものと思われます。仕入れ価格上昇に加え、セール等のお買得時や割引、ポイント付与販促等での売上構成が高まる事が予測され、収益性への影響が懸念されます。【衣料品、住まいの品、食料品】
いろいろな生活用品の値上げラッシュで、耐久消費財購入が先延ばしになったり、低下価格への移動、高齢者主の客層の店は困っている。【メガネ、コンタクト、補聴器】
インドアからアウトドアへの変化にupdownが予想される。【鑑賞魚用品】
インフレ傾向、諸経費の上昇、価格競争。【文具・事務用品】
ウクライナ情勢、新型コロナウイルス悪化の状況。【食料品】
ウクライナ情勢による物価高。【酒類販売】
コロナで個人消費の低迷が大きい。【衣類、化粧品、健康食品】
コロナにより、外出が減った人が多く、手土産の需要が激減した。【和菓子製造販売】
コロナによる人流の変化、物価値上、世界情勢の不安、先がまったく読めない。何が正解なのか？【食品】
コロナの不安が背中にある。【はんこ】
コロナ禍による消費者の価値観の変化。【光触媒、空気触媒製品の販売、メンテナンス業務】
コロナ禍による外出自粛、消費者の買い方の変化。【化粧品、バッグ、服飾小物】
コロナ禍による消費落込みからの売上減少。仕入れ値の高騰。仕入業者の倒産。【アパレル雑貨他 古物】
なんとも計算の出来ない時代、社員に対する経費他燃料費など、増加。【自動車部品】
マンパワーが足りてない。【自動車用品】
まん延防止措置に伴い、需要の減少と相まって仕入れ価格の上昇がかなりのダメージになって

います。特に、輸入品の供給不足が顕著にあらわれていて国産品の品薄状態に拍車がかかって います。供給の安定には数年かかるような気がします。【生花、園芸】
まん延防止等重点措置延長などにより、飛び込み営業に対するお客様の対面での非対応による 売上不振。【中古車販売、車検代行業】
一般消費者の購買意欲の減退がみられる。【家電品、防犯カメラ、業務用空調機の販売】
引続き好調。【衣類 ネット通販 販売】
各種値上げがあり、個人向け24時間風呂が高額商品のため、購入が控えられる可能性がある。 【24時間風呂、業務用風呂ろ過装置、マイクロバブル発生器、上記販売・施工・修理】
既存取引先との取引量減少が避けられない。新規開拓も思うように進まない。【業務用アミュー ズメント機器の開発・設計・製造。電子部品の輸入・販売。電子黒板の企画・販売。】
客数および販売単価が明らかに落ちている。【物産品販売】
客先-社-社の購入量が少ない。【作業服、作業用品販売】
経費コストの上昇(人件費・水光熱費)。【総合小売業】
原材料の大幅な高騰。【介護用食品の開発&販売】
原材料の値上げにより仕入単価が大幅に上昇している。【電気絶縁材、工業用樹脂の販売と加 工】
原材料単価の上昇。【食料品、生活雑貨、衣料品】
原材料不足による納期遅延。【自動車ディーラー】
原油高。【LP ガス、燃料販売、リフォーム】
個人消費の上昇。【和菓子製造販売】
高額品に動きがある。【美術品の卸、小売】
今後、一層の景気回復を望みます。【次亜塩素酸生成器の販売、空気清浄機の販売】
材料値段の高値、材料不足、光が見えない。【木材、新建材、合板、建具】
昨秋から年始にかけて、新型コロナウイルスの感染が落ち着いている時期には、売上げ改善が見 られましたので、現在は資金に余裕がありますが、季節要因に加え、まん延防止等重点措置によ る人流減で、売上げ減少となっています。今後への不安があります。【米菓、製造販売】
仕入価格の上昇に歯止めが利かない。電子部品などの入手が困難になってきている。【エアーク ンプレッサー、エアードライヤーおよび周辺機器の販売と一部製造】
仕入単価の上昇・設備・老朽化。【鶏卵販売、鶏卵養鶏場】
資材不足と仕入単価の上昇が状況の悪化を招いている。【電設資材卸売業】
際のインフレというより、インフレ傾向を消費者が敏感に感じ、財布のひもがかなり固くなり、売 上で苦戦が続いている。【市内物産品】
消費者が出費を抑えていると感じる。【自動車整備、部品販売】
消費者の在宅の機会が多いことから、依然としてEコマース、通信販売の分野が好調である。【健 康食品の小売・卸、玉葱皮茶など】
常に弱含みの感じがする。【機械工具販売】
新型コロナウイルスが流行しているこの2年間、学校への登下校が体育着となっている為、学生 服販売の影響を多大に受けている！買い控え客が増加している。【学生服、学校用品、小売販売】
新型コロナウイルスの影響から先行きが不透明。【地方卸売市場(青果)の運営】
新型コロナウイルスや物流の停滞の影響で金属屑の発生が低調。【非鉄金属屑売買業】
人口減少にともない、顧客の減少。【家電製品、住宅設備機器】
世界の状況の変化に燃料など輸入品の入荷が不安定になるといろんな経費の増大につながる 可能性があるような感じを受けている。【食肉卸】
政府や県のコロナ対策費の影響が反映されて売上上昇。【金物小売】
素材価格の高騰。【管工機材及び住宅設備機器の卸販売】
町の商店は大型店やネット販売との競争に理論上又は、実質上負けて消滅する。【米穀、酒類、飲 食料品、雑貨、弁飯調理パン等小売販売業】
長いコロナの中で個人の方の消費減
低価格の上昇。【石油製品販売】

定期昇給は実施できなかったが、賞与による配分を行った。コロナに加えウクライナ情勢不安による個人消費の不透明感。【生鮮青果物卸売】
燃料価格上昇による輸送費用の上昇、取引先のテレワークによる業務スピードダウン【省庁向け資材・機材の企画開発・販売、インターネットショッピングモール運営 他】
半導体部品不足の解消時期がいつになるのか？物が入荷されないで、遅延増加傾向。コロナ禍の業務拡大で、どのように拡大につなげられるか戦略検討が必要。【電気、通信、土木関連の設備機器材料の販売・工業計器、測定機器、制御機器、分析器の販売・オートメーション設備の設計、施工、保守・新エネルギー関連の販売、設計、施工、保守・工作機器、組立機器および治具開発、設計、組立、加工、販売、保守】
不況感。【配管材料販売、リフォーム工事】
部品調達に時間がかかり、売り上げまでに通常より時間を要す為、販売台数に影響が出たように感じた。【産業機械及び周辺機の卸売業、金型、自動機の製造販売】

飲食業・サービス業
いわゆるオミクロン株の流行以降、子供のいる従業員の保育園都合での休みや濃厚接触者対応により、予期せぬタイミングでの人員不足が生じることが増えた。【ビルメンテナンス業(空調・給排水衛生・電気設備、点検、工事)】
ウクライナ情勢により燃料の高騰、物価の値上げによる個人消費の低迷【廃棄物処理、リサイクル中間処理】
ウクライナ情勢による景気下落。【インキュベーションセンターの運営】
オミクロン(コロナ)の影響で、来店を控える方が増加している。【リラクゼーション業】
お陰様でほとんど変化はありません。【自家用電気工作物、電気保安業務委託】
お客様が支出を制限している。【保険代理店】
ガソリン価格の高騰。【廃棄物収集運搬業務】
この新型コロナウイルス全般の新薬が確立出来ない現状、先行きの見通しは不透明で且つ死活問題です。ひと段落しても、非常事態宣言や蔓延防止措置重点区域等、社会的な規制や制約が発出されると、予約の80%以上がキャンセルになります。原材料費の高騰も一層拍車を掛けている状況です。借入れても返せないで借りる事さえ出来ない状況です。政府は、何処のラインを観てご判断しているのでしょうか、不安しか御座いません。【墓石清掃、墓石クリーニング、墓石コーティング、墓石メンテナンス、石材特殊清掃】
コロナ・戦争・災害の影響【ポンプ・送風機・モートル 修繕、販売】
コロナウイルス感染拡大が続いている中、物価上昇によるコストアップという悪循環に陥っています。【行政書士業】
コロナウイルス感染状況がどうなるか。ウクライナ情勢による景気悪化の影響がどこまで出るか。【旅行業】
コロナがあれば、景気は上向くと思います。【専門・技術サービス】
コロナがあると対面撮影が減少する。仕方ないので別基軸にシフト中。長期的に回復予定。見通しはさほど暗くない。【動画撮影やweb】
コロナが落ち着くにつれて、景気の回復が見られる。一方、ウクライナ情勢の問題は、少なからず景気悪化の可能性があり、影響レベルが見込めない。【ソフトウェア開発、システム構築】
コロナで展示会・イベント等の取引会社の出展及び中止で発注の減少している。【ディスプレイ業、展示会・イベント・内装工事・設計デザイン、リフォーム工事・他】
コロナと高齢化。【理容】
コロナによる飲食利用の人数の減少がとまらない。【ワイン】
コロナによる景気変動があるが、3月以降は取引先も活発になりそうな兆しがあるので、準備して臨みたい。【機械開発支援】
コロナの影響で軒並み、物価上昇で仕入れ単価があがってます。3月からまん延防止措置が解除されないと先行き不安です。はやく、通常に戻れること。【居酒屋】
コロナの影響によりバス観光旅行の回復が見込めない【バス運行事業】

コロナの影響による利用者の減少、介護報酬改定で収益減少と売上の減少する要因が重なり厳しい状況。【介護、福祉、医療】
コロナの外出自粛による人手の減少。【居酒屋】
コロナの関係が今までは年度末は忙しかったが、ここ二・三年は年度末でも暇です。【非破壊検査全般】
コロナの関係にて車両等の使用がだいぶ少なくなっている様子です。(他仕事がなくなってきたのではと思う。) 【自動車修理、販売、板金、塗装等・保険(自動車用)等】
コロナの今後の状況【事業者へのICTサポート、公共工事のICT分野工事監督、コンサルティング】
コロナや物価上昇で決して景気が上向いているとは感じられないが、昨年と比較すると工作機械等の輸出による輸出梱包の受注が増加している。円高の影響があるのではないかと推測しているが、いつまで続くのか全く分からない状況にある。
雇用については、コロナ過において技能実習生が入国できない、求人を出しても来ない、という人手不足の状態にある。【輸出梱包】
コロナ影響つづく。【生ジュース】
コロナ禍。【学習塾】
コロナ禍で各顧客の販促費削減が顕著に表れている。【総合広告代理店】
コロナ禍のため会員数の減少、新規入会者減。【合気道道場】
コロナ禍のため賃貸客の減少(視察者の減少)。【不動産コンサルタント・不動産売買仲介・不動産賃貸管理】
コロナ禍の為に？来客数激減、営業困難。【金券、趣味(切手、カード、コイン)。リサイクル品。酒類売買】
コロナ禍の影響は今年も大きかった。【郵便物、小包の配送、切手類の販売等】
コロナ感染者数の減少により景気回復の先行きが明るくなってきたところに、ロシア対ウクライナ紛争勃発となり原油始めコモディティ単価の上昇が確実となり、更に物価高による金利上昇が確実に行われる来期。一般客の購買姿勢はさらに厳しくなる。【不動産売買・仲介・管理・コンサル】
コロナ急増で来客減少、団体！【居酒屋(アルコール・料理・食事他)】
コロナ次第。【不動産業全般、子育ての家運営】
コロナ終息まで店をつづけていけるのか？【そば、うどん、和食】
スタッフを雇わなければいけない。【全体の施術】
デルタ株、オミクロン株、新型オミクロン株、等々のウイルス感染拡大で海外顧客先の益々の営業活動鈍化による売り上げダウン。【光学製品(医療機器用、工業用)輸出】
まん延防止の発令で仕事にならない。【飲食店】
まん延防止措置と寒さで商店街の通行者数が明らかに減ってる。【理容】
ロシアのデフォルト懸念等による住宅資材の高騰等による消費の圧迫。【不動産賃貸管理、不動産売買、不動産売買仲介、不動産コンサル】
ワクチン接種が始まってコロナが落ち着かず、感染者増加の報道があると、売り上げが減少する。
引き続きコロナの影響。【介護】
円安やロシア・ウクライナの紛争等に伴う燃料費の高騰、ならびに、半導体不足に伴う増加や更新時におけるトラックの納期遅延が危惧さると感じております。【3温度帯(チルド・フローズン・ドライ)食品の物流、自動車部品、商品の入出庫・保管・仕分け・配送等の物流全般ならびに物流センターの管理運営を行う総合物流業】
開発案件の状況など。【システム開発】
街の賑わいは戻りつつあるのに景気自体は今一パツとしない。身近に増えている感染者の経験談から得る情報と報道が伝える内容のギャップが大きい。社会全体が過剰に反応している感が拭えない。【社会福祉】

各種物の値段(価格)の高騰。【銀行支店】
期でいうと好調。【不動産売買仲介】
客先からの引き合い増加。【人材派遣業】
客層が高齢化している。新規客は望めない。【美容業】
客単価が下がる傾向にある。【税理士】
求人の応募不足、新型コロナの従業員感染増、【レンタカー事業、カーリース事業、中古車事業】
求人を出しても応募者がほとんどいない。【フラワーアレンジメント、ステーションナリー、アウトソーシング】
業界の収益構造、働き方改革に伴う生産性の低下。【接骨院】
緊急事態宣言や蔓延防止措置等を過度に出し過ぎている、政治への不信【フォークリフト販売、整備、レンタル】
金融市場の調整。【証券業】
景気の不透明感。【5S、ヒヤリハットなどのカイゼン活動を通じた人材育成、モチベーションアップを支援】
景気感、好不況感の感触、コロナウイルスの動向。【機械設計】
景気感・好不況感状況。【機械設計】
景気観は良い方向にあるとは感じません。さらなる受注金額の引き下げが気にかかります。【高圧洗浄作業】
経営について。【訪問介護事務所】
軽油の上昇。【一般貨物】
原材料、燃料上昇、従業員不足。【中華料理】
原材料など様々な上昇。【土地建物売買】
原材料をはじめとする調達コストの増加、人件費の増加と人手不足。コロナへの対応、災害への備え、資材の高騰、デジタル化への対応など、さばききれない感じ。【廃棄物処理・再生資源卸売】
原材料費の高騰しているものが多すぎる。【パン製造販売】
原油価格高騰による経費の増加。【不動産賃貸他】
原油高を始めとする原材料の高騰。【中小企業金融】
雇用の確保を図り、業務の標準化を行なっていく必要がある。【司法書士業務】
光熱費があがったので固定費がかさんでいる。ライフスタイルの向上を目的に来店、入会する顧客が多いため、顧客自体の生活が安定しないと我々の売上につながっていかない。【音楽スクール、ライブイベント、楽曲提供、レコーディング】
好況→不況、転換期はいつか？【不動産売買、賃貸、建物管理】
航空業界の、インバウンドの状況次第で売り上げが変わってくる。【衣類のクリーニング】
今後については大変不安を持つ(後半)。【社労士、生保、その他】
採用が年々厳しくなってきている。【人材派遣】
去年は協力金でなんとかのりこえたが、今後の客足が不安。【飲食店、牛たんしゃぶしゃぶ】
昨年までは、ドライバーの応募が多く困る事はありませんでしたが、今年は少ないです。【工業部品、一般雑貨】
仕入れ原価の上昇。【不動産管理】
仕入単価の上昇。特に軽油やガソリンなどの燃料の高騰。【建築資材、機械部品、鋼材、木材】
仕入単価の上昇激しい。消費者主に家族のお客様。【中華料理店】
資材関係の値上げ。【油圧機器の再生保守】
時短営業に応じて協力金25万円/日は少ない！！【レストラン】
自由に外出出来るようになってほしい。最近の消費者状況。【美容業】
取り扱い物件の減少。【不動産売買仲介】
取引先企業の好転/悪化状況がはっきりしていると感じる。【サッカークラブの運営】
受注の減少。【運送業】
受注の減少による収益低下が気になります。【厨房設備】

受発注の変化がないので先行不安です。【税務一般】
従業員の不足で募集及び紹介に係る経費の増加。【福祉施設の運営】
従業員不足。【構内作業請負】
小麦など仕入の値段上がりが目立つ。【移動販売(コーヒー)】
消費の落ち込み。【食品の輸送】
消費の落ち込みが多。【理容業】
新規のご利用者様が入らない。コロナの影響もあり直接の営業が出来ない。【地域密着型通所介護】
新型コロナウイルスの動向で？【からあげ、やきとり専門店】
新型コロナウイルス感染症による影響がテナントにより遠い状況の良くないテナントからは、引き続き賃料の減免等要望が出てきている。また、光が見通せない事により、新規テナント募集でも苦戦している区画がある。【不動産賃貸業】
新型コロナの影響和強く。個人消費の低迷が影響している。
新型コロナ感染症の影響が継続し消費低迷、鉄鋼や非鉄金属材料の高騰と長納期化、大企業の半導体不足による操業不安定。【プレス機械の自動化・安全化支援、品質及び環境 ISO の管理支援】
新型コロナ感染状況が不透明で景気の動向が見通せない。【清掃用具レンタル、家事代行、清掃、害虫駆除】
新型コロナ終息が見えないことが不安。我社の場合は土地の仕入単価が異常に上昇していることが心配。【土地、建物売買及仲介業、リフォーム業及駐車場等の管理・施設】
新型コロナ蔓延防止措置による来院患者数の減少。【接骨院】
新型コロナ蔓延防止措置による来院患者数の減少。【接骨院】
新年度を迎えるにあたり、コロナウイルス感染症拡大がどれだけの悪影響を及ぼすかどうかの不安。【グラフィックデザイン、印刷】
診療報酬改定の動向。【訪問診療及び外来診療】
人件費が上がっているが受注単価が不変。作業車のパーキング代が持ち出し。【ビルメンテナンス】
人材が足りない。
人材不足、雇用不足。【環境計測機のメンテナンス、販売】
世の中の動向の見通しが立たない。【書類作成 コンサルタント業務】
世界情勢、コロナ禍、原油高。【建設機械修理】
世界的な経済不安定状況下では、株為替よりも投資不動産の需要が見込める。【投資不動産の管理、コンサルティング業務】
政策金利上昇に伴う住宅ローン金利の動向。【不動産売買・仲介】
設計受託業務の減少が経営を圧迫している。固定費を削減して乗り切る。【設計受託・請負業務、労働者派遣事業、求職者支援訓練事業】
先が見えない。【一般貨物】
先行き不透明感。【不動産賃貸・管理・仲介】
前期より多少客数が増えましたが客単価が上がらない。【美容業】
全て、コロナの状況によるかと。【宅配・テイクアウト】
全体に閉塞感がある。【ラーメン店経営】
大企業と比べて、効率化とどうか生産性の低さに問題を感じている。中小企業でも取り入れやすいパッケージ化されたシステムの導入をしたいと思っている。【不動産の仲介、賃貸不動産の管理】
大型倉庫が原因か？ドライバー確保が難しい。有給による会社持ち出しが大きい。【一般貨物自動車運送事業取扱事業】
大変不透明、明日、将来が見えにくい。【運送】
度々ではありますが、コロナの影響が出始めています。【新築、改築、シロアリ駆除、他害虫駆除】
土地価格の上昇と物件不足及びウッドショックに依る顧客の購買意欲の低下が懸念される。【土

地建物の売買及び仲介】
東欧の動きの景気への影響。【情報処理サービス】
当社旅行業ですがGOTOトラベルの再開のめどもたたず、飲食関係の支援もなく、市として観光事業に支援してほしい！【旅行業】
燃料が高すぎる。【自動車部品】
燃料費の高騰。【一般貨物自動車運送事業、利用運送事業、軽貨物輸送事業】
売上不振。【酒類、つまみ、食事】
半導体不足により、製品が入荷しない。【ポンプ修理、交換などメンテナンス】
不景気で業績悪化の為、賃金等は上げられません。【土地建物の仲介】
物価の上昇による売上単価も向上すれば良いと思っている。厚生年金受給者の給与体系について、今後どのようにすれば良いか、子育て世代の給与が低いままだと今後子供が大学に行くようになった時に共稼ぎでも学費が出せなくなる心配がある。厚生年金受給者を上場企業のように3割カットして、若い世代の給与を向上させたいが同一賃金、同一給与が足かせとなり。下げることができない。【障害者の就労支援】
弊社は国産車新車40%輸入車新車50%一般客10%の売上構成となっており、主力商品である輸入車のカーコーティングは新車販売台数に左右されます。令和3年末までの新車が価格は令和4年より軒並み10%以上各メーカーは値上げ発表したため令和3年末に駆け込み需要が発生しました。よって令和4年の1月2月は輸入車新車コーティングに苦戦しました。また国産車も輸入車も1年通してコロナ禍影響と半導体の影響により供給不安定となっております。ガソリン価格の高騰も気になる場所ではありません。【カーコーティング、カーフィルム、板金塗装】
訪問介護は、対面サービスですので、コロナの感染が一番怖い。ヘルパーが感染すると、サービスが休止に追い込まれる。感染対策が第一、それに並んでヘルパーの増員計画が重要である。【訪問介護事業】
蔓延防止特別対策が終了してから、顧客の消費に対するセンチメントがどれだけ早く戻ってくるか心配である。【ラーメン専門店】
民需の保守点検および修理の減少。【特殊・電気設備、機械機器の点検および保守業務】
木材の仕入単価の上昇、木材不足での取り合い。【梱包、パレット製作】
輸送費の値上げが理由。消費物は上がっているが、運賃は上がらない。【鋼材輸送】
予定されていた仕事が延期されることが多い。【コンサル業】
来店の減少で売上が上がらない。不安。【美容業】
利用者の利用減少。【介護保険事業(高齢)】
臨時収入は減りますが、今後の工夫でそこまで大きく悪化しないと思います。【社会保険労務士業】
労務費は最賃上昇を含め総体的に上がる傾向にあり、収益性は低下している。値上げ要求も即効性はなく自社努力で乗り切るしかない状況で何とか持ちこたえてる。【清掃・警備・設備保守】

経営上の問題点

単純集計

経営上の問題点(3つまで回答可、n=840)

	回答割合	
売上不振	42.5%	357
受注単価・販売価格の低下	10.6%	89
収益率の低下	33.2%	279
個人消費の低迷	15.5%	130
販売先の減少	10.5%	88
大型店の進出	0.8%	7
チェーン店等との競争激化	2.6%	22
公共工事の減少	4.6%	39
民間工事の減少	5.1%	43
仕入単価の上昇	44.4%	373
円安の影響	3.2%	27
円高の影響	0.5%	4
代金回収困難	1.3%	11
諸経費の増加	20.8%	175
従業員(含、臨時)が過剰	1.2%	10
従業員(含、臨時)が不足	22.4%	188
設備不足・老朽化	12.0%	101
特になし	5.4%	45

製造業

今回調査を見ると、「仕入単価の上昇」が引き続き増加、「諸経費の増加」「収益率の低下」も増加した。「販売先の減少」は低下した。オミクロン株拡大、中国の新型コロナ拡大、ウクライナ危機による資材・部品不足の影響が明確に現れている。

	R3年1~3月 n=235	R3年4~6月 n=261	R3年7~9月 n=261	R3年10~12月 n=224	今回調査 n=214
売上不振	71.1%	56.3%	51.4%	46.9%	46.7%
受注単価・販売価格の低下	18.3%	27.6%	18.0%	12.9%	13.1%
収益率の低下	32.3%	5.7%	35.9%	33.0%	35.5%
個人消費の低迷	4.3%	11.1%	6.1%	3.1%	4.2%
販売先の減少	12.3%	0.4%	11.4%	12.5%	6.5%
大型店の進出	0.4%	0.8%	0.8%	0.0%	0.0%
チェーン店等との競争激化	0.0%	3.8%	0.4%	0.9%	0.5%
公共工事の減少	3.0%	5.4%	1.6%	1.8%	0.5%
民間工事の減少	5.1%	36.4%	2.4%	1.8%	0.9%
仕入単価の上昇	22.6%	2.3%	47.8%	61.6%	65.0%
円安の影響	1.3%	0.4%	2.0%	6.3%	5.1%
円高の影響	0.4%	1.5%	1.2%	0.4%	1.4%
代金回収困難	0.4%	14.9%	2.4%	1.3%	0.9%
諸経費の増加	14.0%	3.4%	13.1%	16.1%	19.6%
従業員(含、臨時)が過剰	5.5%	11.9%	2.0%	1.3%	1.4%
従業員(含、臨時)が不足	14.9%	23.4%	16.7%	21.4%	21.0%
設備不足・老朽化	25.5%	5.7%	20.8%	16.1%	15.9%
特になし	6.4%	5.7%	4.1%	2.7%	2.3%

経営上の問題点（業種別）

建設業

「仕入単価の上昇」が引き続き増加し、「収益率の低下」も増加した。「売上不振」はやや減少した。売上はやや回復傾向にあるが、製造業と同様に仕入や経費の増加が収益を圧迫しているようである。

	R3年1~3月 n=155	R3年4~6月 n=182	R3年7~9月 n=182	R3年10~12月 n=184	今回調査 n=144
売上不振	45.2%	40.1%	34.3%	34.8%	31.3%
受注単価・販売価格の低下	24.5%	33.0%	17.5%	19.6%	17.4%
収益率の低下	25.8%	9.3%	27.7%	29.9%	34.0%
個人消費の低迷	11.0%	6.0%	7.2%	5.4%	5.6%
販売先の減少	10.3%	0.5%	7.8%	5.4%	4.2%
大型店の進出	1.9%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%
チェーン店等との競争激化	1.9%	20.9%	1.8%	2.2%	0.7%
公共工事の減少	21.9%	30.2%	18.7%	19.6%	20.8%
民間工事の減少	32.3%	27.5%	28.3%	21.2%	22.2%
仕入単価の上昇	16.1%	4.4%	36.1%	46.2%	53.5%
円安の影響	1.3%	1.1%	0.0%	3.3%	2.8%
円高の影響	0.6%	2.2%	0.0%	0.5%	0.0%
代金回収困難	1.3%	9.9%	3.0%	0.5%	1.4%
諸経費の増加	6.5%	1.1%	13.9%	15.2%	15.3%
従業員（含、臨時）が過剰	1.3%	29.7%	0.0%	0.5%	0.0%
従業員（含、臨時）が不足	24.5%	8.2%	30.1%	31.5%	30.6%
設備不足・老朽化	5.8%	1.6%	4.8%	6.0%	5.6%
特になし	5.2%	2.7%	4.2%	7.1%	3.5%

小売業・卸売業

「仕入単価の上昇」が急増し、「収益性の低下」、「個人消費の低迷」、「設備不足・老朽化」も増加した。「売上不振」「受注単価・販売単価の低下」は減少した。全体的な物価上昇により、売上もコストも上昇しているが全体的には収益性が低下している。需要が徐々に回復し、コロナ禍で抑えていた設備投資の再開の兆しが見られる。

	R3年1~3月 n=134	R3年4~6月 n=134	R3年7~9月 n=166	R3年10~12月 n=158	今回調査 n=129
売上不振	50.7%	53.6%	51.5%	51.9%	47.3%
受注単価・販売価格の低下	15.7%	27.7%	8.3%	12.0%	8.5%
収益率の低下	29.9%	36.1%	34.9%	34.8%	38.0%
個人消費の低迷	35.1%	20.5%	32.0%	29.7%	34.9%
販売先の減少	28.4%	9.0%	24.3%	21.5%	17.8%
大型店の進出	2.2%	9.0%	3.0%	3.2%	3.9%
チェーン店等との競争激化	6.7%	2.4%	10.1%	10.1%	8.5%
公共工事の減少	3.0%	1.8%	4.1%	2.5%	0.8%
民間工事の減少	2.2%	22.3%	5.9%	2.5%	0.0%
仕入単価の上昇	20.1%	3.6%	35.5%	33.5%	49.6%
円安の影響	4.5%	0.0%	3.0%	6.3%	6.2%
円高の影響	0.0%	3.0%	0.6%	0.6%	0.0%
代金回収困難	1.5%	11.4%	2.4%	3.2%	1.6%
諸経費の増加	11.9%	4.2%	13.0%	20.9%	16.3%
従業員（含、臨時）が過剰	1.5%	9.6%	0.6%	1.9%	0.0%
従業員（含、臨時）が不足	11.9%	13.9%	9.5%	12.7%	12.4%
設備不足・老朽化	13.4%	4.8%	8.9%	5.7%	12.4%
特になし	5.2%	5.4%	6.5%	6.3%	3.1%

経営上の問題点（業種別）

飲食業・サービス業

「諸経費の増加」、「収益率の低下」、「売上不振」、「販売先の減少」が増加し、「従業員が不足」が減少した。オミクロン株による再度のまん延防止措置により、客足が減るとともに、燃料高騰などの影響も出てきていることがわかる。

	R3年1~3月 n=408	R3年4~6月 n=418	R3年7~9月 n=418	R3年10~12月 n=418	今回調査 n=353
売上不振	52.0%	46.9%	44.0%	39.6%	42.8%
受注単価・販売価格の低下	13.0%	23.7%	8.0%	8.6%	7.1%
収益率の低下	34.3%	22.0%	27.3%	27.3%	29.7%
個人消費の低迷	25.0%	14.4%	25.3%	19.2%	19.3%
販売先の減少	18.6%	2.9%	13.8%	9.1%	12.7%
大型店の進出	0.5%	1.0%	1.3%	1.0%	0.6%
チェーン店等との競争激化	1.7%	5.3%	3.0%	2.5%	2.5%
公共工事の減少	4.4%	5.0%	4.8%	2.0%	2.0%
民間工事の減少	3.7%	12.7%	4.5%	2.0%	2.5%
仕入単価の上昇	7.4%	1.4%	16.3%	26.0%	26.3%
円安の影響	0.5%	0.2%	0.3%	2.3%	1.1%
円高の影響	0.7%	2.6%	0.0%	0.0%	0.3%
代金回収困難	2.5%	17.2%	2.0%	1.5%	1.4%
諸経費の増加	18.1%	5.3%	15.3%	20.5%	25.5%
従業員（含、臨時）が過剰	1.2%	15.8%	1.8%	1.3%	2.0%
従業員（含、臨時）が不足	18.1%	16.0%	23.0%	29.3%	23.5%
設備不足・老朽化	14.5%	14.6%	13.8%	12.1%	12.2%
特になし	11.8%	13.2%	11.3%	14.4%	8.8%